読みんしゃい！

慈愛会 地域福祉部会 かわら版

Vol. 02
H30年１月発行
発行：社会福祉法人慈愛会
法人地域福祉部会

「地域福祉部会かわら版」は、社会福祉法人慈愛会「地域福祉部会」が、当法人と地域の皆様との様々なつながり・取り組みをご紹介するための広報紙です。

韓国学生あいのさと研修（法人全体）
H29年7月31日～8月7日

慈愛会では、韓国で福祉を学ぶ学生を毎年２０名ほど受け入れ、日本の社会福祉や文化を学ぶ機会を提供しています。

今年で１４回目となった今研修。これまでに延べ250名以上の韓国学生の皆様との出逢いがありました。研修に参加した学生の中には、卒業後、福祉の第一線で活躍されている方も多くいるそうです。今後も国を超えての学びと交流の機を大切にしたいと考えています。

RUN伴＋（篠原の里・富の里）
H29年11月4日

『RUN伴（ラン ともプラス）＋』は、「認知症になっても安心して暮らしていけるまちづくり」の一環で行われる、啓発イベントです。認知症の方やご家族、支援者、一般の方々がリレーをしながら１つのタスキを繋ぎ、ゴールを目指すマラソンです。

慈愛会からも篠原の里と富の里職員・ご利用者が参加し、短距離ではありましたが、啓発活動の一翼を担わせて頂きました。

認知症の奥様を介護されている84歳の男性にタスキをつなぎます

篠原の里ご利用者と富の里職員がいっしょにゴール！

地域合同防災訓練（篠原の里）

H29年11月12日

篠原中央行政区、雷山消防団、糸島市消防本部のご協力をいただき、約130名が集っての総合防災訓練を行いました。

訓練では避難・通報をはじめ、平時からの備えとして消火器の使用方法や地域消防団による屋外消火栓の使用方法を実践を通じて学びました。

また、訓練を通じて地域の方々に「篠原の里」を知っていただく貴重な機会ともなりました。皆様ご協力ありがとうございました。

「ほっ」とコラム

人生100年時代…。
訪問するお年寄り宅で、
よくお見かけする心得を
ご紹介します。

～生き活き五ヵ条～

一、仲間が居て 気持ちの優しい人

二、人の世話をよくし 感謝のできる人

三、ものをよく読み よく書く人

四、よく笑い 感動を忘れない人

五、趣味の楽しみをもち

旅の好きな人

編集後記

かわら版vol.２では『繋がり』がテーマでした。国境を越えた繋がり。家族や地域との繋がり。地域間合同の訓練の繋がり。様々な繋がりの形がありました。繋がる事の大切さを感じられます。

話は代わって韓国、大刀洗地区、糸島地区には共通点があります。どの場所にも酒造所がある事です。醸造する上で原料と水、そして酵母が繋がる事で醸造酒独特の味や香りを醸します。寒さが身にしみるこの季節は温かいお鍋で一杯頂き、ほっこりしたいものですね。